

平城宮跡歴史公園歴史体験学習館の整備に関する検討委員会（第8回）

議事概要

日 時：令和2年11月5日（木） 14：00～16：00

場 所：一般社団法人奈良県経済倶楽部会議室

出席者：朝廣 佳子氏、石原 昌伸氏、魚島 純一氏、内田 和伸氏、来村 多加史氏、
正司 哲朗氏、中村 孝氏、増井 正哉氏、山下 進二氏

概 要：多くの利害関係者がおられることにより、委員の率直な発言に支障が生じる恐れがあるため、平城宮跡歴史公園歴史体験学習館の整備に関する検討委員会運営要領第4条に基づき、非公開で開催。

県より、下記議事について、別添資料により説明。

委員からの主な発言は以下のとおり。

議事（1）パブリックコメントについて

○主な意見の概要

- ・設備の維持管理費、更新を含めたランニングコストに対する意見が挙げられている。これを受け、整備計画（案）を修正すべき。
- ・歴史体験学習館の体験・交流内容を充実するため、イベントの意見が多く挙げられている。これを受け、人が集う交流エリアにおけるイベント開催など、整備計画（案）に追記してはどうか。
- ・パブリックコメントに対する回答に当たっては、意見を踏まえ整備計画（案）へ追記修正した箇所や、既往計画の該当箇所が具体的にわかるように丁寧に回答すること。

議事（2）整備計画案について

○主な意見の概要

- ・上記意見を踏まえ、整備計画（案）を修正すること。
- ・パブリックコメントにて、歴史体験学習館と既存施設の役割分担について意見が挙げられていた。機能分担が十分に計られていることを理解できるよう、6頁の各施設の主な機能に関する表へ、具体的な施設内容を加筆するなどの修正をしてはどうか。
- ・パブリックコメントの意見を踏まえ、大宮通りの沿道景観等の配慮について整備計画（案）へ追加することは良い。様々な角度からフォトモンタージュを作成し、検討されたい。

議事（3）今後の検討内容について

○主な意見の概要

- ・建物と展示内容・コンテンツの基本計画を行う令和3年度は重要なステージ。検討体制に学芸員を交えるなど、十分な検討体制にて望んでもらいたい。
- ・体験・交流内容にAIやIoT、ICT等の新技術を活用するとの計画だが、整備計画段階では方向性が定まっていない印象を受ける。基本計画段階で十分に検討を深めて頂きたい。
- ・平城宮跡の歴史・文化を学ぶことができる民放映像も多くある。歴史体験学習館に、そのような映像をアーカイブ的に閲覧できる空間があるといい。